別紙:組み込みデータ型対応表 (SQLServer-PostgreSQL)

					所は、他が近が7 一 7 生対が収(dubbli voi Tostgi sout.						
	作成日: 2013/03/08	SQL Server 2008 R2					PostgreSQL 9.2x				
				ft_com/ja-jp/library/ms187594%28SQL.100%29.aspx				参考URI http://www.postgresql.jp/document/9.2/html/datatype.html			
数值		intp://msun.microsort.com/ja-jp/ilorary/ms187594%2		Com, ja jp, norary, ma rov so viscosac.	14.100/02-3-daph			nttp://www.postgresqi.jp/document/oic/ntmi/o	2/Hulli/uatatype.ntml		
	I—		line a	Treat or and	I	Land 10-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-			Antre em		
No	用遂	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
	小さな整数	tinyint		1パイト	0 ~ 255		smallint/int2	2/1/1	-32768から+32767		
2	狭範囲整数	smallint		2パイト	-2^15 (-32,768) ~ 2^15-1 (32,767)		smallint/int2	2/11	-32/08//9+32/0/		
	標準的整数	Int	integer	4/5/11	-2^31 (-2,147,483,648) ~ 2^31-1 (2,147,483,647)		Integer/Int4	4バイト	-2147483648から+2147483647		
,	18年10年数	iii.	integer		-2 31 (-2,147,403,040) - 2 31-1 (2,147,403,047)		micogor/mic-	47.511.	-2147403040% 572147403047		
4	広範囲整数	bigint		8/1/1	-2^63 (-9,223,372,036,854,775,808) ~ 2^63-1 (9,223,372,036,854,775,80	7)	bigint/int8	8パイト	-9223372036854775808から 9223372036854775807		
	AL PORTILE SA	Dig.ii.		J	2 65 (5,225,572,656,654,775,666) 2 65 7 (5,225,572,656,654,775,66	()					
							smallserial/serial2 2バイト		1から32767		
						精度によって、smallserial、serial、bigserialを選択 既存値最大を初期値をリセットする必要がある	serial	4パイト	1から2147483647		
5	自動採番の仕組み	(異性) IDENTITY(s,i)を整数型に付与				肝友信暴大を初期信をリヤットする必要がある	55.14.	- ''			
						場行 直収 八 で 切用 値 で ノ こ ノ ドラ るが 安カ の る	bigserial/serial8	8パイト	1から9223372036854775807		
								**	-		
概数											
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
				1-9桁: 5パイト							
1	ユーザ指定浮動小数値	dealmal/n a)	Dee	10-10kg-0/3/k	- 10^38 +1 ~ 10^38 - 1		decimal	可変長	小数点前までは131072桁、小数点以降は		
	ユーザ指定浮劇小数恒	decimal(p,s)	Dec	20-28桁: 13パイト 29-38桁: 17パイト 1-9桁: 5パイト	- 10"38 + 1 ~ 10"38 - 1		decimai	可変技	16383桁		
				29-38桁: 17パイト							
				1-9桁: 5パイト							
2	ユーザ指定浮動小数値	numerici(p,s)	Dec	10-19桁: 9パイト	- 10^38 +1 ~ 10^38 - 1		numeric	可変長	小数点前までは131072桁、小数点以降は		
				20-28桁: 13パイト					16383桁		
			+ .	29-38桁: 17パイト					-1-4		
3	浮動小数点数值	real	real	4パイト	- 3.40E+38 ~ -1.18E-38、0、および 1.18E-38 ~ 3.40E+38		real/float4	4パイト	6桁精度		
4	浮動小数点数值	float(n)	float	1-24桁: 4パイト 23-53桁: 8パイト	- 1.79E+308 ~ -2.23E-308, 0, および 2.23E-308 ~ 1.79E+308		double	8パイト	15桁精度		
	/F 90/ 7 9X m/ 9X III	ποαιζή	Double precision	23-53桁: 8パイト	1.732+3002.232-300, 0, 080 2.232-300 - 1.732+300		precision/float8	0, (1)	1311/19/50		
通貨											
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名		範囲		
	通貨型	money			-922,337,203,685,477.5808 ~ 922,337,203,685,477.5807						
			+		014.740.0040 014.740.0047		money	8/1/1	-92233720368547758.08 から +92233720368547758.07		
2	通貨型(少額)	smallmoney		4パイト	- 214,748.3648 ~ 214,748.3647				+32233720300347730.07		
文字											
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
				2+n/3.4h							
	可变長文字列	varchar(n)	character varying	2+nパイト 最大n:8000	8000文字						
1				AX. 11.0000							
								106パイレキカル・ウマナ1パイレー 早十1ギギバイレ			
				1			varchar(n)	126パイトまで:n文字+1パイト~最大1ギガパイト 126パイト以上:n文字+4パイト~最大1ギガパイト			
	Unicode(UCS2)		national character	2+201544			varcinar(ii)	1207 (17)			
2	Unicode(UCS2) 可变長文字列	nvarchar(n)	varying	2+2nバイト 最大n:4000	4000文字	文字セットをUNICODE(UTF-16)にする必要がある。					
			7***8		1	1					
	I			1	1	1					
			-								
				-1541							
3	固定長文字列	char(n)	character(n)	nバイト 最大n:8000	8000文字						
				MX.11.0000							
								1バイト 126バイトまで:n文字+1バイト〜最大1ギガ バイト126バイト以上:n文字+4バイト〜最大1ギガバ			
							char(n)	バイト126バイト以上:n文字+4バイト~最大1ギガバ			
							Char(n)	11			
4	Unicode(UCS2)	nchar(n)	national character(n)	2nバイト	4000文字	文字セットをUNICODE(UTF-16)にする必要がある。					
-	Unicode(UCS2) 固定長文字列	nonar(n)	mational character(ii)	最大n:4000	400077	大子と力でも同じのひと(も11・10)にするが安かある。					
			-								
_	文字列			男士 2 1 47 492 647 ボイト	0.01 1 (0.147 400 047)						
5	文字列 将来のバージョンで削除予定	text		最大 2,147,483,647パイト	2^31-1 (2,147,483,647)						
							text	-			
	code文字列 のパージョンで削除予定 ntext natio						leave.				
6			national text	最大 1073741823 * 2パイト	2^30 - 1 (1,073,741,823)						
	付木のパーフョンで削除すた										
バイナリ	F-9	·		•							
No		型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
	可変長バイナリ			2パイト + nパイト(最大8000)	1~8000	英)大川町1500(00年からの4512で5億・1・安)	坐口	1000717	#360		
		varbinary (n)	Binary varying	2ハイト + nハイト(最大8000)	1~8000						
2	一意の2進数を公開するデータ型	rowersion	timestamp	8/5/16							
	(時間関連の内部データ型)	· Carrio Carrio	(非SQL2003)	- ''							
3	固定長バイナリ	binary		nバイト(最大 8000)	1~8000		Π.				
							рутеа	1または4パイトと実際のパイナリ列の長さ	1G/17h		
	I					1CDを招きる場合は ニージナブジェカレも原用	ĺ				
4	可変長バイナリ	Image		最大 2,147,483,647パイト	0 ~ 2^31-1 (2,147,483,647)	1GBを超える場合は、ラージオブジェクトを使用、 外部ファイルに保存、複数カラム化等を検討	ĺ				
1				1	1	200827-177に本分、複数カプムル寺で探討	ĺ				
日付/時	刻										
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
						文字列表現を用いて移行					
	I			1	日付範囲: 1753 年 1 月 1 日~ 9999 年 12 月 31 日		l				
1	24 時間形式の時刻と組み合わせた日付	datetime		8 バイト	日付範囲: 1753 年 1 月 1 日~ 9999 年 12 月 31 日 時刻範囲 00:00:00 ~ 23:59:59.997	文字列表現等詳細:	ĺ				
	1			1	PT 907 #600 00.00.00 · ~ 23.33.3331	http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb630352%28v=sql.100%29.aspx	ĺ				
			1								
				1	1		I				
	24 時間形式の時刻と組み合わせたロゼ			1秒以下3未満 6パイト	日付範囲: 0001-01-01 ~ 9999-12-31	文字列表現を用いて移行	timestamp[(p)]	0.44			
2	24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 (1動以下指定好)	datetime2(p)		1秒以下3未満 6パイト 1秒以下3-4 7パイト	日付範囲: 0001-01-01 ~ 9999-12-31 西暦 1 年 1 月 1 日~西暦 9999 年 12 月 31 日	文字列表現を用いて移行 ナノ助が必要な場合は、容権できない(桁落ち)	timestamp[(p)]	8/1/	4713 BC から 294276 AD		
2	24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 (1秒以下指定桁)	datetime2(p)		1秒以下3未満 6パイト 1秒以下3-4 7パイト 1秒以下5以上 8パイト	日付範囲: 0001-01-01 ~ 9999-12-31 西暦 1 年 1 月 1 日~西暦 9999 年 12 月 31 日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999	文字列表現を用いて移行 ナノ砂が必要な場合は、変換できない(桁落ち) -> 数値、文字列表現等でアプリケーションでなんとかするなど必要	timestamp[(p)] [without time zone]	8/11	4713 BC から 294276 AD		
2	24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 (1秒以下指定桁)	datetime2(p)		1秒以下3未満 6パイト 1秒以下3-4 7パイト 1秒以下5以上 8パイト	日付範囲: 0001-01-01 ~ 9999-12-31 西暦 1 年 1 月 1 日~西暦 9999 年 12 月 31 日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.999999	文字列表現を用いて移行 ナノ防が必要な場合は、変換できない(桁落ち) -> 数値・文字列表現等でアプリケーションでなんとかするなど必要	timestamp[(p)] [without time zone]	8/{1}	4713 BC から 294276 AD		
2	(1秒以下指定桁)	datetime2(p)		1秒以下3未満 6パイト 1秒以下3-4 7パイト 1秒以下5以上 8パイト	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999	文字列表現を用いて移行 ナノドかが必要な場合は、変換できない(桁落ち)。 → 数値・文字列表現等でアプリケーションでなんとかするなど必要	timestamp[(p)] [without time zone]	81/14	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以下指定桁)				時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999		timestamp[(p)] [without time zone]	417.8	4713 BC から 294276 AD		
3	24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 (1秒以下指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒未測は保持しない	datetime2(p)		1秒以下3未満 6パイト 1秒以下3・4 7パイト 1秒以下5以上 8パイト	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日	文字判表現を用いて移行 大沙が必要な場合は、実施できない(桁落ち) ・教師・文字判表現著でアプリケーションでなんとかするなど必要 文字判表現を用いて移行	timestamp[(p)] [without time zone]	8/511	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付				時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999		timestamp[(p)] [without time zone]	8/4/	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付				時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	81/41-	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			4/5416	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/4/-	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付				時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/41	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			4パイト datetimeoffset :10パイト1秒以下7	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/46	4713 BC <i>t</i> /-6 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			4パイト datetimeoffset :10パイト 1参以下 7 桁 datetimeoffset(0):8パイト 1参以下 0.	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/4/-	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			4パイト datetimeoffset :10パイト 1参以下 7 桁 datetimeoffset(0):8パイト 1参以下 0.	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/46	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			4パイト datetimeoffset :10パイト 1参以下 7 桁 datetimeoffset(0):8パイト 1参以下 0.	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/4/-	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			datetimeoffset :10パイト1秒以下 7 桁 datetimeoffset(0):8パイト1秒以下 0-2桁 constitutionoffset(1):8パイト1秒以下 0-2桁 dittimeoffset(1):8パイト1秒以下 0-2桁	時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59.9999999 日付範囲: 1900-01-01 ~ 2079-06-06 1900 年 1 月 1 日 ~ 2079 年 6 月 6 日		timestamp[(p)] [without time zone]	8/41	4713 BC から 294276 AD		
	(1秒以ト指定桁) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付			datetimeoffset:10パイト1移以下7桁 datetimeoffset(0):8パイト1移以下0 datetimeoffset(1):8パイト1移以下0 datetimeoffset(2):8パイト1移以下0	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999999999999999999999999999		timestamp((p)) [without time zone]	8/44	4713 BC <i>t</i> /-6 294276 AD		
3	(1秒以ト指定的) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒未満は保持しない			datetimeoffset:10パイト1秒以下7 桁 datetimeoffset(0):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(1):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(2):8パイト1秒以下0	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[wthout time zone]				
	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下7 桁 datetimeoffset(0):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(1):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(2):8パイト1秒以下0	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]		4713 BC から 294276 AD		
3	(1秒以ト指定的) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒未満は保持しない			datetimeoffset:10パイト1移以下7桁 datetimeoffset(0):8パイト1移以下0- datetimeoffset(1):8パイト1移以下0- 2桁 datetimeoffset(2):8パイト1移以下0- 2桁detimeoffset(3):9パイト1移以下3- detetimeoffset(3):9パイト1移以下3-	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[wthout time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下7 桁 datetimeoffset(0):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(1):8パイト1秒以下0 datetimeoffset(2):8パイト1秒以下0	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59		[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下7桁 datetimeoffset(0):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(1):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(2):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(3):9パイト1秒以下3.datetimeoffset(4):9/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下 7 Ri datetimeoffset(0):8パイト1秒以下 0- 2桁 datetimeoffset(1):8パイト1秒以下 0- 2桁 datetimeoffset(2):8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(3):9パイト1秒以下 3- datetimeoffset(4):9パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 5-	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下 7 Ri datetimeoffset(0):8パイト1秒以下 0- 2桁 datetimeoffset(1):8パイト1秒以下 0- 2桁 datetimeoffset(2):8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(3):9パイト1秒以下 3- datetimeoffset(4):9パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 3- datetimeoffset(5):10パイト1秒以下 5-	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset: 10パイト1秒以下 7 だが datetimeoffset(0): 8パイト1秒以下 0- 2指 datetimeoffset(1): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(2): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(3): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(4): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5- 7桁 getetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5-7	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset:10パイト1秒以下7桁 datetimeoffset(0):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(1):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(2):3パイト1秒以下0.2桁 datetimeoffset(3):9パイト1秒以下3.datetimeoffset(4):9/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+0/4/1+	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset: 10パイト1秒以下 7 だが datetimeoffset(0): 8パイト1秒以下 0- 2指 datetimeoffset(1): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(2): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(3): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(4): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5- 7桁 getetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5-7	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				
3	(1秒以ト指定布) 24 時間形式の時刻と組み合わせた日付 1 秒 来満は保持しない タイムゾーンを認識する			datetimeoffset: 10パイト1秒以下 7 だが datetimeoffset(0): 8パイト1秒以下 0- 2指 datetimeoffset(1): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(2): 8パイト1秒以下 0- datetimeoffset(3): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(4): 9パイト1秒以下 3- 4桁 datetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5- 7桁 getetimeoffset(6): 10パイト1秒以下 5-7	時到範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59,99999999 日付範囲: 1900:01-01 ~ 2079-06-06 1900: 年1月 1日 = 2079 年 6月 6日 時刻範囲: 00:00:00 ~ 23:59:59	文字列表現を用いて移行	[without time zone]				

別紙:組み込みデータ型対応表 (SQLServer-PostgreSQL)

	作成日: 2013/03/08	SQL Server 2008 R2						PostgreSQL 9.2x			
		参考URI	http://msdn.microsoft.	.com/ja-jp/library/ms187594%28SQL.	100%29.aspx		参考URI	http://www.postgresql.jp/document/9.2/html/d	latatype.html		
5	日付	date		3/1/4	0001-01-01 ~9999-12-31 西屬 1 年 1 月 1 日~西屬 9999 年 12 月 31 日 (文字列表現10 文字)	文字列表現を用いて移行	date	4/5/11	4713 BC から 5874897 AD		
6	時刻	time(p)	time : 5/<4-1 跨以下 7桁 time(0): 3/<4-1 持以下 0-2桁 time(1): 3/<4-1 持以下 0-2桁 time(1): 3/<4-1 持以下 0-2桁 time(3): 4/<4-1 持以下 0-2桁 time(4): 4/<4-1 持以下 0-4桁 time(4): 4/<4-1 持以下 0-4桁 time(6): 5/<4-1 持以下 5-7桁 time(6): 5/<4-1 持以下 5-7桁 time(7): 5/<4-1 持以下 5-7桁		00:00:00.0000000 ~ 23:59:59.9999999	文字列表現を用いて移行 ナン時が必要な場合は、変換できない(析落ち) →数値・文字列表現地でアプリケーションでなんとかするなど必要		8/<1	00:00:00 から 24:00:00		
ビット											
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
1	1、0、または NULL の値をとる整教型	は NULL の値をとる整数型 bit 1/ イト(8ピット毎)		I. O. または NULL TRUE:1/FALSE:0に変換する)			1.バイト(8ピット毎) (ピット列長に応じた5または8パイトのオーバーヘッド)	1, 0, NULL			
その他							•				
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換指針特記(記載なしは特に考慮不要)	型名	格納サイズ	範囲		
		xmi ([CONTENT DOCUMENT] Xml_schema_collection)				文字列換現を用いて、移行する # varchar/nvarcharに変換可能 # http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms189887%28v=sql.1009 操作に関いては 別途アプリアーション仕様 (Transact-SQLで操作していたため) を検討し、 PostgreSQLの操作関数等を利用を検討する必要がある。	xml	記載なし			
		uniqueidentifier		16パイト	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx		UUID	16パイト	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx		
	(Microsoft SQL Server2=-2)										
No	用途 型名 ISO名 格納サイズ 範		範囲	変換指針	型名	格納サイズ	範囲				
1		cursor		-	NULL許可	別途アプリケーション仕様を検討	-	-	-		
2	SQLサーバナーノル階層構造定質時の保持用	hierarchyld		-	-	別途アプリケーション仕様を検討	•	-	-		
3	(大地目前 ノンブイム)	CLR		-	•	別途アプリケーション仕様を検討	-	-	-		
4	ハラハーラ、変数、のよび失り個	sql_variant		-		別途アプリケーション仕様を検討	-	-	-		
5	行のセットの一時的な格納場所	table	1	-	-	別途アプリケーション仕様を検討	i -	-	-		

別紙:組み込みデータ型対応表 (SQLServer 2005-PostgreSQL)

作成日: 2014/03/06	SQLServer2005 参考URL	http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms187752(v=sql.190).aspx				PostgreSQL9.2			
字列	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換時の留意点(記載なしは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	acon
固定長文字列	CHAR [(n)] n省略:1(*1) or 30(*2) n範囲:1~8000	CHARACTER [(n)]	固定長(space埋め) nベイト	8000バ仆分の文字	CHARAC n音略: I SQLServer側では、Unicode以外の文字コードはデータ長nをバイ・単位で指定しているが、PostgreQU側では文字数単位で指定する必要がある。	CHARACTER [(n)] n省略:1	CHAR [(n)]	間定長(space埋め) 126バイまで: n * 文字のバイ数+1バイト 126バイト以上: n * 文字のバイ数+4バイト	4623
可変長文字列	VARCHAR[(n)] n省略:1(+1) or 30(+2) n範囲:1~8000	CHAR VARYING [(n)] CHARACTER VARYING [(n)]	可変長 n + 2 バイト	8000バ仆分の文字		CHARACTER VARYING (n)	VARCHAR (n)	可変長 126バ小まで: n * 文字のバ小数 +1バ小 126バ小以上: n文字+4バ小	
上限の無い可変長文字列	VARCHAR (max)	CHAR VARYING(max) CHARACTER VARYING (max)	可変長 最大2°31-1 バイト ※使用する文字列によりサイズ変動	2^31-1 (2,147,483,647)バイト分の文字	SQLServer側でデータサイズがIGB以上のデータは、PostgreSQL側の対応するデータ型には	CHARACTER VARYING n省略: 制限無し	VARCHAR	可変長 最大1ギガバイト	約1GB分の文字
上限の無い可変長文字列 (特来のバージョンで削除予定で、 VARCHAR (max)の使用を推奨)	TEXT	-	可変長 最大2 [*] 31-1バイト ※使用する文字列によりサイズ変動	2^31-1 (2,147,483,647)バイト分の文字	格納できないため、ラージオブジェクト、または外部ファイルの使用を検討する必要がある。	TEXT	-	可変長 最大1ギガバイト	約1GB分の文字
icode文字列	77.6	Troo to	India a	Lateron	Telephone Code In (COMPAN) and Advisory	771.44	Inc. to	Inon n e-	AKTIRI
o 用途 Unicode(UCS2) 固定長文字列	型名 NCHAR [(n)] n省略:1(*1) or 30(*2) n範囲:1~4000	ISO名 NATIONAL CHAR [(n)] NATIONAL CHARACTER [(n)]	格納サイズ 固定長(space埋め) n * 2パイト	範囲 Unicode(UCS-2) で4000文字		型名 CHARACTER [(n)] n省略:1		格納サイズ 周定長(space埋め) 126ペイトまで: n * 文字のバイト数+1バイト 126パイト以上: n * 文字のバイト数+4バイト	(MG)/H
Unicode(UCS2) 可変長文字列	NVARCHAR [(n)] n省略: 1(*1) or 30(*2) n範囲: 1~4000	NATIONAL CHAR VARYING [(n)] NATIONAL CHARACTER VARYING [(n)]	可変長 n * 2 + 2 バイト	Unicode(UCS-2) で4000文字		CHARACTER VARYING (n)	VARCHAR (n)	可変長 126バ小まで: n * 文字のバ小数 +1バ小 126バ小以上: n文字+4バ小	
Unicode(UCS2) 上限の無い可変長文字列	NVARCHAR (max)	NATIONAL CHAR VARYING (max) NATIONAL CHARACTER VARYING (max)	可変長 最大2 [°] 31-1 バイト	Unicode(UCS-2)で 2^30 - 1 (1,073,741,823) 文字	CHAR. SQLServer削でデータサイズがIGB以上のデータは、PesternSQL側の対応するデータ型には 格納できないため、ラージオブジェクト、または外部ファイルの使用を検討する必要がある。 TEXT	CHARACTER VARYING	VARCHAR	可変長 最大1ギガバイト	約1GB分の文字
Unicode(UCS2) 上限の無い可変長文字列 (特来のバージョンで削除予定で、 NVARCHAR (max)の使用を推奨)	NTEXT	NATIONAL TEXT	可変長 最大2°31-1 バイト	Unicode(UCS-2)で 2^30 - 1 (1,073,741,823) 文字		TEXT	-	可変長 最大1ギガバイト	約1GB分の文字
別用途	型名	ISOA	格納サイズ	徹別	変換時の留意点(記載なしは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	Takon
	DECIMAL (p,s) NUMBRIC (p,s) p範囲:有効桁1~38桁 s範囲:小数点以降0~p桁	DEC(p,s)	1-9桁: 5バ仆 10-19桁: 9バ仆 20-28桁: 13バ仆 29-38桁: 17バ仆	- 10^38 +1 ~ 10^38 - 1		NUMERIC (p , s) p範囲: 有効桁1~1000桁 s範囲: 小数点以降0~p桁	DECIMAL (p,s)	III.	- 10^1000 +1 ~ 10^1000 - 1
 	DECIMAL (p)	DEC (p)	1-9桁: 5バ仆 10-19桁: 9バ仆 20-28桁: 13バ仆 29-38桁: 17バ仆	- 10^38 +1 ~ 10^38 - 1		NUMERIC (p) p範囲:有効桁1~1000桁	DECIMAL (p)	10進数4桁のそれぞれのグループに対し て2パイトと、3から8パイトのオーバヘッド	- 10^1000 +1 ~ 10^1000 - 1
小数点以下桁数を持つ任意精度の数値	DECIMAL NUMERIC p省略: 有効桁18桁 s省略: 小数点以降0桁	DEC	9バイト	- 10^18 +1 ~ 10^18 - 1	SQLServer側で精度と長さの両方が省略されている場合、PostgreSQL側に移行する際に明確に指定をし直す必要がある。	で型ぐ付き、動き多ぐ付やカオーバヘッド UMERIC (18,0) DECIMAL (18,0)	- 10^18 +1 ~ 10^18 - 1		
	-	-	-	-	SQLServer側で最大精度(有効桁38桁)を使用している場合、精度がおり高い方がよいケースでは、省略による最大精度の使用を検討する場合がある。	NUMERIC	DECIMAL		小数点前までは131072桁 小数点以降は16383桁
金銭や通貨の値	MONEY	-	8/5/IF	-922,337,203,685,477,5808 ~ 922,337,203,685,477,5807					
少額の金銭や通貨の値	SMALLMONEY	-	4/5/1	- 214,748.3648 ~ 214,748.3647	SQLServer側のSMALLMONEYからの移行では、桁数が大きくなることにより計算ロジックの見直しか必要になる場合がある。	MONEY	-	8/1/h	-92233720368547758.08 ~ +92233720368547758.07
1桁の2進数	BIT	-	※テーブルでは1バイト(8列)単位で格納する。8列未満の場合、1バイトで格納する。	1、0、または NULL の値をとる整数型	SQLServer側では、bit型の値を0と1の整数値というだけでなく、True、Falseの文字列としても扱える点に注意が必要である。 PostgresQl両では、bi型は実数値ではなく0と1のピッナ文字列であるため、ストアドの移行時にはピッナ文字列にキャスト等の考慮が必要である。	BIT [(n)] n省略:1	-	1バイト(8ピット毎) (ピット列長に応じた5または8バイトのオー バーヘッド)	1, 0, またはNULL(NULL許容)
小さな整数	TINYINT	-	バ小	0 ~ 255	PostgreSQL側に移行する際には、用途によってはテーブルの列定義時に、255以下の刺鈴を整数型(smallintでなぐてもないに付与することを検討する。また、ストアドの変数宣言でsmallint等の整数空で代用する場合にも別途検討か必要な場合がある。	SMALLINT	INT2	2バイト	整数(0 ~ 255)
狭範囲整数	SMALLINT	-	2バイト	-2^15 (-32,768) ~ 2^15-1 (32,767)					整数(-32768~+32767)
) 標準的整数	INT	INTEGER	が仆	-2^31 (-2,147,483,648) ~ 2^31-1 (2,147,483,647)		INTEGER	INT, INT4	4×11-	整数(-2147483648~+214748364
1 広範囲整数	BIGINT	-	8/ 5 /1	-2^63 (-9,223,372,036,854,775,808) ~ 2^63-1 (9,223,372,036,854,775,807)		BIGINT	INT8	8/5/1	整数(-9223372036854775808~ 9223372036854775807)
				2 00 1 (0,220,012,000,0001,110,001)		SMALLSERIAL	SERIAL2	2バイト	15×632767
2 自動採番の仕組み	(属性) IDENTITY (s, I)を整数型に付与	-	-	-	SQLServer側における整数型の精度によって、smallserial、serial、bigserialを選択、また既存値最大の初期値をリセットする必要がある。	SERIAL BIGSERIAL	SERIAL4 SERIAL8	4/ ³ /1 8/ ³ /1	1から2147483647 1から9223372036854775807
数							<u>'</u>		
D 用途 倍精度浮動小数点数	型名 FLOAT	ISO名 DOUBLE PRECISION	格納サイズ	範囲 - 1.79E+308 ~ -2.23E-308、0、および 2.23E-308 ~ 1.79E+308	変換時の留意点(記載ないは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	範囲
倍精度浮動小数点数	FLOAT	FLOAT [(n)] n 省略: 53桁(2進数) n 範囲: 25~53桁(2進数)	8/5/1	- 1.79E+308 ~ -2.23E-308, 0, および 2.23E-308 ~ 1.79E+308		DOUBLE PRECISION	FLOAT8 FLOAT [(n)] n省略:53桁(2進数) n範囲:25~53桁(2進数)	81414	最低15桁(10進数) およそ-1E+308と+1E+308
単精度浮動小数点数	REAL	n範囲:25~53桁(2進数) FLOAT(n) n範囲:1~24桁(2進数)	4/5/1	- 3.40E+38 ~ -1.18E-38, 0, および 1.18E-38 ~ 3.40E+38		REAL	FLOAT4 FLOAT(n) n範囲: 1~24桁(2進数)	4×1	最低6桁(10進数) 少なくとも-1E+37と+1E+37

別紙:組み込みデータ型対応表 (SQLServer 2005-PostgreSQL)

ĺ	作成日: 2014/03/06	SQLServer2005						reSQL9.2			
		参考URL	http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms187752(v=sq1.90).aspx 等				参考URL	http://www.postgresql.jp/document/9.2/html/datatype.html 等			
	上時刻										
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換時の留意点(記載なしは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	範囲	
1	日付と時刻	DATETIME	-	0, 411,	範囲:1753 年 1 月 1 日~ 9999 年 12 月 31 日 精度:3.33 ミリ秒		TIMESTAMP	-	8×11	日付と時刻両方(時間帯なし) 1 μ 秒 14桁 4713 BC〜294276 AD	
2	低精度の日付と時刻	SMOLLDATETIME	-	47 MF	6 日	PostgreSQL側に移行する際に、smolldatetimeからTIMESTAMPへは、文字列表現を用いて移行 可能である。 ストアトの変数宣言でTIMESTAMPで代用する場合は別途検討が必要な場合がある。。					
バイラ	リ文字列										
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換時の留意点(記載なしは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	範囲	
1	固定長バイナリ	BINARY [(n)] n省略:1 n範囲:1~8000	-	固定長 nバ仆	8000バイト分のバイナリ	PostgreSQL側に移行する際に、データ長の指定は不可となり、固定長ではなくなってしまう点に注意が必要である。		-	可変長 目または1バイト実際のバイナリ列の長さ	1ギガバ仆	
2	可変長バイナリ	VARBINARY [(n)] n省略:1 n範囲:1~8000	BINARY VARYING [(n)]	可変長 n+2バイト	8000バイト分のバイナリ	PostgreSQL側に移行する際に、データ長の指定が不可になる点に注意が必要である。	BVTEA				
3	上限の無い可変長バイナリ	VARBINARY (max)	BINARY VARYING (max)	可変長 最大2 [°] 31-1 (2,147,483,647) バイト	2^31-1 (2,147,483,647) バイト分のバイナリ	SQLServer側でデータサイズがIGB以上のデータは、PostgreSQL側の対応するデータ型には 格赦できないため、ラージオブジェクト、または外部ファイルの使用を検討する必要がある。					
4	上限の無い可変長バイナリ (将来のバージョンで削除予定で、 VARBINARY (max)の使用を推奨)	IMAGE	_	可変長 最大2 [^] 31-1 (2,147,483,647) バイト	2^31-1 (2,147,483,647) バイト分のバイナリ	格納できないため、ラージオブジェクト、または外部ファイルの使用を検討する必要がある。					
その	也のデータ型							<u>'</u>			
No	用途	型名	ISO名	格納サイズ	範囲	変換時の留意点(記載なしは考慮不要)	型名	別名	格納サイズ	範囲	
	ストアドにおける結果保持用のデータ型 カーソルへの参照を格納	CURSOR	-	-	Null許容	カーソルで使用されるデータ型であるため、カーソル機能自体の移行の観点も含め別途検討が必 要である。	REFCURSOR	-	-	Null許容	
2	ユーザー定義関数の列、 パラメータ、変数、および戻り値用のデータ型	SQL_VARIANT	-	-	text、ntext、image、timestamp、および sql_variant を除き、サポートしている各種 データ型の値が格納可能	別途アプリケーション仕様の検討が必要である。	-	-	-	-	
3	行のセットの一時的な格納場所となるデータ型	TABLE	-	-	_	対応するデータ型はないが、PostgreSQL側のストアドへの移行では、一時テーブル作成や、SQL 関数等を利用しての対応を検討すると想定される。	-	-	-	-	
4	一意の2進数を公開するデータ型	TIMESTAMP	ROWVERSION	-	-	SQLServer側からPostgreSQL側に移行する際に、"一意となる番号を格納するバイナリ"としての特性を継続するには別途検討が必要である。	BYTEA	-	入力データサイズ + (1または4バイト)	1ギガバイト	
5	16 バイトの グローバルな一意識別子 (GUID)	UNIQUEIDENTIFIER	-	16バイト	xxxxxxxx-xxxx-xxxx- xxxxxxxxxxx (16進)		UUID	-	16バイト	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	
6	XML ドキュメントやそのフラグメントを格納する データ型	XML		2ギガバ仆		XML型の値に対して機能する関数等を含めて別途検討が必要である。	XML	-	-		

^{*1} データ定義または変数宣言ステートメントで指定省略時 *2 CAST 関数および CONVERT 関数で指定省略時